

# みどりの風

真庭市立 富原小学校報 No.19



令和5年3月24日

校長 池田 誉

## すばらしかった卒業式

3月17日（金）に、令和4年度卒業証書授与式を無事に挙行することができました。立派に成長した2人の卒業生を無事に送り出すことができました。

卒業式の主役は6年生ですが、1～5年生も、お世話になった6年生の晴れ舞台を支える大事な役割を担っています。式に向けての練習の段階から、その役割の大切さを一人一人が意識して参加しました。卒業式本番でも、よい姿勢で6年生の姿をしっかりと見つめ、堂々としたお別れの言葉、美しい歌声、大きな拍手で2人の卒業生との別れを惜しみました。厳かな中にも温かさのあるとてもよい卒業式になりました。

卒業式は、在校生にとっても、1年間の成長ぶりを確かめることのできる大事な機会です。この日の姿から、まもなく始まる新しい学年での活躍がますます楽しみになりました。



## 行事の様子から

### 勝山中学校出前授業

6年生の卒業を間近に控えた14日（火）、勝山中学校より、英語の大塚先生と数学の妹尾先生が来てくださり、5・6年生に授業をしてくださいました。



英語の授業では、先生の英語の自己紹介を聞いて分かったことを答えたり、英語でビンゴゲームをしたりしました。先生がほとんど英語で話されるので、子どもたちは聞き逃すまいと集中して聴いていました。質問の意味を理解して、進んで手を挙げて発表する姿も見られました。



数学の授業では、図形の名前や面積の求め方を答えたり、2平方センチメートルの正方形を描いたりする学習をしました。簡単にはできない課題に挑戦し、数学の難しさや楽しさを体験することができました。中学校では勉強も難しくなりますが、しっかりがんばってほしいと思います。

## 校庭の木の剪定を行いました

11日（土）に校庭のイチョウとポプラの木の剪定作業を行いました。

富原小学校の校庭には大きなイチョウの木が3本、ポプラの木が1本あります。毎年秋には見事に色づき、目を楽しませてくれます。一方で、あまりにも大きくなりすぎて、強風や降雪などで枝が折れる危険性が高まっていました。また、大量の落ち葉の片付けも学校にとって負担となっており、今年度は大勢のボランティアの方のお手伝いをいただきました。そこで、真庭市と相談の上、業者に依頼して剪定していただくことになりました。



クレーン車で木の上を吊り上げながら切っていく大がかりな作業でしたが、大きな木があっという間にすっきりと変身しました。

枝がほとんどない状態になり、少し寂しい感じがしますが、またぐんぐんと枝を伸ばし、数年後には元のような姿に戻るとのことです。

## 令和4年度を振り返って

24日（金）の修了式をもって、令和4年度の富原小学校の教育活動を無事に終わることができました。保護者の皆様、地域の皆様には本校の教育活動にご協力いただき、本当にありがとうございました。

1年間を振り返ってみると、今年度も新型コロナウイルス感染症の影響を受け、気の抜けない日々が続いたように思います。また、7月には大雨警報で、1月には大雪警報での臨時休業もありました。また、夏には水不足による水泳学習やプール開放の中止など、気候による影響も多かったです。

しかし、日々の授業や学校行事は、ほぼ予定通り行うことができました。運動会や学習発表会では、多くの家族の方や地域の方に児童のがんばる姿を観ていただきました。

また、「富原ふるさと学習」を中心に据えた生活科と総合学習の研究に力を入れ、児童が地域に出て、地域の方とふれあいながら、地域のことを主体的に学ぶことができました。自分の考えを積極的に伝えたり、友達と協力しながら自分たちで考えた活動を実行したりする力は、着実に伸びたと実感しています。他校の児童との交流学習も各学年で実施し、いろいろな人とかわる力も高まっています。

令和5年度は「富原小学校 学校運営協議会」が発足し、「コミュニティ・スクール」になります。これまで以上に、保護者の皆様、地域の皆様と一緒に「どんな富原の子を育てたいか」を考え、それぞれの取組を実行していくことが大切です。今後ともご協力のほどよろしくお願いいたします。

